

東北海区沿岸水温予報(2020年)

海域	経過 (1~3月)	現況(4月上旬~ 4月中旬)	見通し (4月下旬~6月)	見通しの背景	特異現象 (漁海況)
三陸北部 (青森県太平洋沿岸; 青森水総研発表)	<p>・定地水温:1月は概ね平年並み、2月は平年並み高めであった。</p> <p>・3月の津軽暖流の水温ははなはだ高め、水塊深度はかなり深め、津軽暖流の東方への張り出しは平年並み。</p>	<p>・定地水温はかなり高め</p> <p>・4月の対馬暖流の水温は0mでやや高め、50mおよび100mでかなり高め(日本海海洋観測結果)。</p>	<p>・津軽暖流域の水温はやや高め~かなり高めで推移する。</p>	<p>・FRA-ROMSでも平年より高めの予測となっているため。</p>	特になし。
三陸中部 (岩手県沿岸; 岩手水セ発表)	<p>2月【2/7~2/13】 《表面水温》 10海里以内は7~8℃台であり、全域で平年並みであった。</p> <p>10海里以遠は、県北部沖から県南部沖でやや高め~高めであった。</p> <p>《100m深》 10海里以内は県中部沖から県南部沖でやや高めであった。</p> <p>10海里以遠は、県北部沿岸域を除きやや高めであった。</p> <p>3月【3/17~3/19】 《表面水温》 10海里以内は7℃台であり、県北部沖から県中部沖でやや高め~高めであった。</p> <p>10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に40海里以遠ではやや高め~高めとなっていた。</p> <p>《100m深》 10海里以内は、全域でやや高めであった。</p> <p>10海里以遠は、全域で高めであり、特に県北部沖から県中部沖の40海里以遠でやや高め~高めであった。</p>	<p>4月【4/7~4/9】 《表面水温》 10海里以内は8~9℃台であり、全域でやや高め~高めであった。</p> <p>10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の30海里以遠では高め~極めて高めであった。</p> <p>《100m深》 10海里以内は、やや高め~高めであった。</p> <p>10海里以遠は、沖合域に行くにつれて高めとなっており、特に県北部沖から県中部沖の30海里以遠では高め~極めて高めであった。</p>	<p>5月は、100m深水温は全域でやや高め、各0海里定点の10m深水温は黒埼、トドヶ埼、椿島の定点でやや高め、尾埼で高め。</p>	<p>農林水産省「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」において開発した、水温経験的予測システムを用いて解析した。</p>	<p>4月10日までのツノナシオキアミ累計数量は約1,561トンで、前年比15%となっている。</p>
三陸南部 (宮城県沿岸; 宮城水セ発表)	<p>【1月】表面水温は平年並から1℃高め。水深100mはおおむね平年並だが38°30'Nの142°10'E付近に局所的な冷水があり1℃低め。</p> <p>【2月】表層水温は仙台湾南部で1℃高め、38°50'Nの142°30'E以東で3℃高め。水深100mでは冷水が差し込み38°30'N以北、142°E付近で2℃低め。</p> <p>【3月】表層水温は仙台湾で1℃高め、142°E以東では2~3℃高め。水深100mでは1~2℃高め。</p>	<p>【表層】仙台湾南部で最大2℃高め、142°E以東で水温が高くなり1~4℃高め。</p> <p>【100m】142°E以東で水温が高くなり1~4℃高め。</p>	<p>【5月】38°30'以北、142°30'以東でやや高め、その他の海域で平年並み。</p> <p>【6月・7月】全ての観測海域で平年並み。</p>	<p>自己回帰係数固定モデルによる。</p>	<p>親潮の南下が極めて弱く、沿岸が一様に高水温。オキアミ極度の不漁。</p>
常磐北部 (福島県沿岸; 福島水試発表)	<p>100m深水温</p> <p>【1月】 ※欠測</p> <p>【2月】 県北沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県中沿岸は「やや高め」、沖合は欠測 県南沿岸は「高め」、沖合は欠測</p> <p>【3月】 県北沿岸「平年並み」、沖合は欠測 県中沿岸「平年並み」、沖合は欠測 県南沿岸「平年並み」、沖合は欠測</p> <p>※県北:37°50'N、県中:37°25'N、 県南:37°00'N、 沿岸:142°00'E以西、 沖合:142°15'E以東</p>	<p>100m深水温</p> <p>【4月上旬~中旬】 県北沿岸、沖合ともに「やや高め」 県中沿岸、沖合ともに「平年並み」 県南沿岸は「平均並み」、沖合は「やや低め」</p>	<p>【4月下旬】 「平年並み」、もしくは「平年より高め」で推移する。</p> <p>【5月】 「平年並み」、もしくは「平年より高め」で推移する。</p> <p>【6月】 「平年並み」、もしくは「平年より高め」で推移する。</p>	<p>気象庁の海面水温・海流1ヶ月予報(4月10日発表)によると、5月10日までの本州東方の海面水温は「平年並みか平年より低い」見込みであり、親潮は「南限位置は39.5°N、147°E付近」になり、「面積は、平年より小さい」と予測されている。</p> <p>また、FRA-ROMS発表の2020年3月予測水温偏差及び4月下旬~6月にかけての100m深水温によると、4月下旬の福島県海域の水温は平年並みか平年より1~2℃高めとなり、5月上旬でも親潮系暖水の波及は継続するため、この傾向は続くと思われる。</p> <p>以上のことから、4月下旬から6月にかけて「平年並み」もしくは「平年より高め」で推移すると予測した。</p>	

常磐南部 ～ 鹿島灘 (茨城県沿岸; 茨城水試 発表)	1月:弱いながらも暖水波及が続いており, 全層で「平年並～やや高め」だった。 2月:昨年12月からの断続的な暖水波及によって全層で概ね「平年並み～やや高め」で, 0～100深では一部「高め」の点も見られた。 3月:暖水波及の影響によって, 表層では「やや高め～極めて高め」, 50m以深では概ね「平年並～高め」だった。ただし, 北部・沖合の100m深付近の一部では「やや低め」が見られた。	南部・沖合では黒潮の影響による昇温が見られ, 全層で「平年並～高め」だったが, 会瀬定線の0～100m深141.75°付近では「やや低め」だった。	水温は, 沿岸域で「平年並み～やや低め」, 沖合域で「平年並～やや高め」で推移する見通し。	①現在, 鹿島以北の沿岸域では10℃以下の冷水が南下している影響で, 「平年並～やや低め」となっている。 ②FRA-ROMSによると, 5月上旬は表層・100m深ともに沿岸で「平年並」, 沖合は「平年並～やや高め」で推移するとの予測であった。 ③以上より, 今後の水温は, 沿岸域では「平年並～やや低め」, 沖合域では「平年並～やや高め」で推移すると予測した。	特になし。
---	--	---	---	--	-------

各階級の水温平年偏差の範囲

階級区分(出現率)	三陸北部	三陸中部		三陸南部	常磐北部	常磐南部～鹿島灘
		距岸10海里内	距岸10～70海里			
極めて高い(2.5%)	+3.1℃～	+3.7℃～	+5.8℃～	+5.7℃～	+4.8℃～	+6.1℃～
高い(7.5%)	+2.0～+3.0℃	+2.4～+3.6℃	+3.8～+5.7℃	+3.7～+5.6℃	+3.1～+4.7℃	+4.0～+6.0℃
やや高い(20%)	+0.8～+1.9℃	+1.0～+2.3℃	+1.5～+3.7℃	+1.5～+3.6℃	+1.2～+3.0℃	+1.6～+3.9℃
平年並(40%)	+0.7～-0.7℃	+0.9～-0.9℃	+1.4～-1.4℃	+1.4～-1.4℃	+1.1～-1.1℃	+1.5～-1.5℃
やや低い(20%)	-0.8～-1.9℃	-1.0～-2.3℃	-1.5～-3.7℃	-1.5～-3.6℃	-1.2～-3.0℃	-1.6～-3.9℃
低い(7.5%)	-2.0～-3.0℃	-2.4～-3.6℃	-3.8～-5.7℃	-3.7～-5.6℃	-3.1～-4.7℃	-4.0～-6.0℃
極めて低い(2.5%)	-3.1℃～	-3.7℃～	-5.8℃～	-5.7℃～	-4.8℃～	-6.1℃～